

浦和稲門会会報

No. 2002-2



2002年(2001年度) 浦和稲門会年次総会

平成14年5月26日(日)

於：浦和東武ホテル
天平之間

受付開始：11:00

総会：12:00

懇親会：13:15

第1部

総会

議長：佐藤会長

議長選出

司会者紹介・開会の辞

司会：柏副会長



総会会長挨拶

浦和稲門会

平成12・13年度会長

佐藤浩司



議事

議題：1・2001年度事業報告

幹事長 吉野弘芳



平成13年

9月6日

早稲田大学校友会

埼玉県支部役員幹事会開催

11月10日平成13年度校友会埼玉県支部

所沢大会開催

会長以下12名参加

次期開催地引継式

所沢稲門会から浦和稲門会

平成14年

1月20日

浦和稲門会新年会

浦和東武大飯店

参加35名

卓話：長谷川先生 「大学近況報告」

松永先生(元大臣) 「政界雑話」

県支部大会関係

平成13年5月・準備委員会発足

同年12月・実行委員会へ移行

14年3月・第1回実行委員会

：県支部大澤事務局長打ち合わせ

同月・役員幹事会開催：

県大会実行組織及び担当検討

議題2・決算報告 大熊事務局長

議題3・監査報告 綱川絢監査役

議題4・決算承認 佐藤会長

浦和稲門会の会員の皆様並びに今回母校早稲田大学創立125周年にご寄付を下さった皆様共々定時総会にご出席下され心より感謝致します。ご承知の様に最近の早稲田大学の進展振りには目を見張るものがあります。すなわち国立における初等科の新設、川口には芸術学院、本庄には北の拠点としての整備拡充等誠に画期的であります。この様な状況の下今秋11月9日(土)さいたま市文化センターにおきまして校友埼玉県支部会が当稲門会主催で開催される訳であります。現在その準備の為企画を練り県支部事務局と擦り合わせを行なう処迄来ております。又、来る2007年の創立125周年を目標にして募金活動のキャンペーンを行なっておりますことは皆様既にご承知の事と思っておりますが是非自己最善の寄付のご協力をお願い致します。

私は今期で任期が切れますので次期会長には副会長の久保君の承諾を得て後を託す事になりました。今迄自分にご協力下さった吉野幹事長を初め役員会員の皆様には心より感謝申し上げます。今後の浦和稲門会の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げ私の挨拶と致します。

議題5・平成14・15年度
新会長・役員推薦指名
佐藤13年度会長

— 総会承認 —

議題6・新役員幹事紹介

平成14・15年度
浦和稲門会 役員・幹事
(敬称略)

会 長：大久保俊増

副会長：柏 茲・吉野弘芳

顧 問：佐藤浩司・松永光・高野嗣男
長谷川幸男・杉田康恕

監査役：荒井重隆・綱川絢子

幹 事：井上富夫・遠藤巨良・金子努
金子裕司・影山茂樹・鈴木徹
高浜一・辻村大司・野島照雄
町田宏・山本裕二・吉田俊夫
巽正典・富川信一郎・滝沢幸男

事務局長(会計兼務)：大熊繁紀
[横江一美]

新会長挨拶



14年度会長
大久保俊増

この度伝統ある浦和稲門会会長就任に当たり一言挨拶申し上げます。

「彩の国埼玉」と言えば浦和。浦和と言えば県庁、文教、サッカー、鰻と相場が決まっているご当地に厄介となり早くも10年余が過ぎました。

此の間、公私に亘り素晴らしい方々との出会いがあり、人生70近い今日迄健康で来られたのも全て社会の恩恵と日々感謝致しております。会社の先輩である故石村氏に薦められて浦和稲門会に入会、活動に参加致しました処、計らずも佐藤前会長から会長就任のご依頼を頂き、お引き受け致した訳でございます。これも何かの縁、「社会への還元」

を旗印として、背伸びせず、じっくりと事を進めて参る所存であります。どうぞ、200名近い会員各位のご指導ご協力を賜りつつ課題の多い当該年度を一生懸命乗り切つて参ります。よろしくお願い申し上げます。

方針

- 1・母校への支援活動
 - 2・会員相互の親睦
 - 3・会員の増強拡大
 - 4・125周年記念事業募金活動の支援
 - 5・校友会埼玉県大会担当とその成功
- 以上

議題7・平成14年度事業計画

大熊事務局長



県大会開催内容：平成14年11月9日
さいたま市文化センター
主催：浦和稲門会 後援：大宮稲門会
参加予定：総長以下学校関係・校友会関係
県下稲門会約200名予定

議題8・各部会事業計画

- *ゴルフ部会 吉田部会長
- *麻雀部会 金子努部会長

総会終了挨拶

佐藤直前会長

総会出席者

遠藤巨良・吉田俊夫・佐藤浩司・高野嗣男
長谷川幸男・松永光・大久保俊増・柏 茲
吉野弘芳・宮崎充弘・野島照雄・金子 努
金子裕司・大熊繁紀・町田 宏・巽 正典
綱川寿夫・綱川絢子・新井重隆・辻村大司
辻村浩司・浅井豊章・新井 満・井上富夫
高浜一・羽生啓・久保勲・佐藤斎・矢橋実
島田達夫・清水克朗・向江朝夫・益子幸雄
吉野禎一 (敬称略・順不同)

第II部

早稲田大学創立125周年記念事業募金
寄付者記念バッチ贈呈式

会長挨拶

直前会長 佐藤浩司

大隈重信侯が創立当時話された言葉があります。老候は、私立の学校はお寺の在り方と全く同じで沢山の檀家があって初めて成り立つ様に学校も多くの善意の寄付者無くして永續できないと申されておられます。

現代社会の大学に対して産学協同と言う要望が一段と切実になって来た事を考えます時に老候の建学の趣旨にも合致する事でありご理解頂きます様バッチ贈呈式に当たり御礼とお願いを兼ねて挨拶とさせていただきます。

募金活動状況報告

募金実行委員会委員 吉野弘芳
町田 宏

総額資金：360億円
募金目標：200億円 個人100億円
法人100億円
募金実行委員会2,944名(2002.2.1現在)
入金実績(02.3.31現在)
累計・法人等約8億5千万円
個人等約15億円
準備資金(1995~99)含め総累計
27億6千万円

埼玉県さいたま市在住
寄付者実績報告(02.2.6)
¥15,371,996.

内郵便番号336・338在住者255名
上記に対し記念バッチ贈呈式のご案内を郵送本日約40名のご参加の各位に対し当稲門会会員と同時に「記念金バッチ」贈呈式を執り行わさせていただきます。

125周年記念事業募金記念
金バッチ贈呈式参加者一覧表

(敬称略・順不同)

[新会員]

大島邦晴・矢澤容之・長谷川修・長島弘次
殿塚恭朗・永口盛義・北島新六・岩崎義平
若井誠治・遠藤靖夫・坂尻昭雄・小原澤尚
荻野清明・和田浩一・小林勤・斎藤悠美子
佐野盛紀・名取正・長谷川勤・大橋三千夫
秋本高幸・神田隆義・佐野熊太・関根 尚
山口真一・重田辰弥・青木脩・川島兵四郎
大木健司・平林浩一・石井正之・田村晃一
原口 健・武井 敦・泉 信

[以下金バッチ贈呈者]

小林正文・石垣弘之・老川祥一・井田慶子
種村禮靖・村岡 務・原田宣昭・木村栄吾。
脇田善四郎(5.28手廻し)

第III部

浦和稲門会 新入会員紹介

上記参照

第IV部

懇親会

開会の言葉
挨拶
挨拶

司会：網川 絢子
大久保 会長
県大会実行委員長
高野 嗣男
吉野 副会長

乾 杯 (挨拶)

懇 談
閉会 挨拶

柏副会長



早稲田大学校歌

都の西北 早稲田の杜に
 聳ゆる藁は 我等が母校
 我等が日頃の 抱負を知るや
 進取の精神 学の独立
 現世を忘れぬ 久遠の理想
 輝く我等が 行手を見よや
 早稲田 早稲田

東西古今の 文化の潮
 一つに渦巻く 大島国の
 大なる使命を 担いて立てる
 我等が 行手は窮まり知らず
 やがても久遠の 理想の影は
 あまねく天下に 輝き布かん
 早稲田 早稲田

あれ見よかしこの 常磐の杜は
 心の故郷 我等が母校
 集まり散じて 人は変われど
 仰ぐは同じき 理想の光
 いざ声揃えて 空もとどろに
 我等が母校の 名をばたたへん
 早稲田 早稲田

[お知らせ]

平成14年度

早稲田大学校友会埼玉県支部大会

開催月日：平成14年11月9日(土)

場所：さいたま市文化センター

[京浜東北線浦和駅西口下車]

商議委員会

受付開始・13:30 会議・14:00

大会受付開始・14:00

開 会 ・15:00

開会の言葉

歓迎の言葉

大会挨拶：県支部長

挨拶：早稲田大学新総長

奥島前総長

校友会代表幹事

125周年記念事業募金報告

閉会の言葉

特別記念講演 講師未定

懇親会・18:50

来賓 挨拶

御 紹 介 (支部役員他)

乾 杯

アトラクション (未定)

次期開催地引き継ぎ式

校歌斉唱

閉会の言葉・20:00

[以上予定。決定後改めてご案内]

写真説明 [浦和稲門会新年度役員・幹事一同]



会員諸兄にお願い

年会費(¥3,000.)納入の件

平成14年度稲門会年会費未納の方は早急に下記口座迄お振込下されませう様お願い致します。
 会報・総会通知・新年会通知等の印刷費・郵送料は会費で賄っておりますのでご協力お願い
 致します。尚、平成12年度・13年度未納の方も併せてお振込お願い致します。

振込口座：あさひ銀行浦和中央支店

普通預金：1713087

口座名義：浦和稲門会

[乞教誤字脱字：会報作成：吉野]